

【羊ヶ丘病院の“今”をお知らせ】



平成28年度 院内研究発表会開催しました

NEWS

2016年12月30日（金）午後、外来・リハビリテーションを休診とさせて頂き、「平成28年度 院内研究発表会」を開催しました。当院は「学習型病院」を「職員心得」に掲げ、日頃の臨床結果や改善点等を学術発表しています。今回は医師2名、看護部3名、リハビリテーション科3名、放射線科1名、検査科1名、医事課1名の計11名が発表致しました。



「肩腱板断裂後のシャワー浴に対する患者満足度向上への取り組み」（看護部4階病棟 瀬田井）



「女子軟式野球選手における投球時肩・肘痛の発生率と特徴について」（リハビリテーション科 井村）



「レセプト査定について～外来編～」
（事務部医事課 柳館）



「下肢手術を受けた患者の生活過程を整える退院支援・指導」（看護部3階病棟 大場）



「ノルディックウォーキングによる運動効果：体組成変化による検証」(リハビリテーション科 伊藤)



「術前CTからBristow変法に必要なスクルー長は予測可能か？」(医局 牧原医師)



「わかりやすい術前オリエンテーションを目指して～術前休薬説明に関する工夫・改善～」(看護部外来 中村)



「当院MRIにおけるスキャン中心とJointコイル間の距離がSN比へ及ぼす影響」(放射線科 長谷川)



「電子カルテ上に導入したテンプレートを使用して作成した超音波検査報告書の有用性」(検査科 坂)



「難治性足底腱膜炎に対する体外衝撃波疼痛治療の効果」(リハビリテーション科 内野)



「重度外反母趾足の第1中足骨自体は捻じれているか？

～CTによる検討～」(医局 丸山医師)



質疑応答も活発に交わされました！



岡村理事長より開会の辞の様子



閉会の辞は倉院長より